

みゆずメソン
ゆめりあシリーズ XXX
MESON Lecture & Concert
学のみち 楽のいずみ

講演

森 章司

フルート

佐々木 真

ギター

岩永 善信

2015年

3月13日(金)

p.m.7:00開演

6:30開場

ゆめりあホール

西武池袋線 大泉学園駅 北口 徒歩1分

03-5947-2351

全自由席

一般 ¥3000

割引 ¥2000

(学生・障がいのある方・日本フルート協会員)

W.A.モーツァルト : ソナチネ 八長調 K.439b

森 章司 : 「国語になった仏教語」
講演要旨 → 裏面

S.アサド : 「マジック・サークル」

E.グリーグ : 「叙情小品集」より
「ノルウェーの旋律」
「ワルツ」
「こびとの行進」

J.S.バッハ : 組曲 二短調 BWV997



主催・お問い合わせ：みゆずメソン

〒352-0025 埼玉県新座市片山 1-16-21

Tel 048-477-1313 Fax 048-481-1784

E-Mail meson@din.or.jp

H.P. <http://www.muse-meson.com/>

後援：一般社団法人 日本フルート協会

協力：松本公認会計士事務所 / かくの木薬局

さいとう小児科内科クリニック / 増根住設

草の実文庫 / パウエル・フルート・ジャパン



森 章司(講演)もり しょうじ

1938年三重県生まれ。東洋大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程修了。博士(文学)。東洋大学教授、文学部長、学校法人東洋大学理事などを歴任して現在は東洋大学名誉教授。

主な著書に『仏教比喻例話辞典』(1987年)、『国語のなかの仏教語辞典』(1991年)、『原始仏教から阿毘達磨への仏教教理の研究』(1995年 以上は東京堂出版)、『初期仏教教団の運営理念と実際』(2000年)、『仏教的ものの見方—仏教の原点を探る』(2001年 以上は国書刊行会)など。

現在は釈尊伝研究会代表として、仏教の開祖である釈尊(ゴータマ・ブッタ)の伝記研究に打ち込んでいる。この研究成果に『原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究』全19巻(1999年～2014年 中央学術研究所)がある。

「国語になった仏教語」講演要旨 仏教が日本に伝わってから1500年。この間に仏教は日本社会に浸透して、今では私たちは、仏教のことばをそれと自覚せずに日常的に使うようになっています。「ありがとう」「四苦八苦」などはその代表でしょう。しかしこれらの言葉には本来の仏教の教えにはない日本的なニュアンスがしみ込んでいます。このような言葉を通して「日本人と仏教」を考えてみたいと思います。



佐々木 真(フルート)ささき まこと

京都大学理学部大学院物理学修士。学部在学中1963年日本音楽コンクール入選。1967年東京交響楽団に入団。1970～94年首席フルート奏者。1996年4月フランス「ポアチエの春」音楽祭に招聘されイェルク・デームス氏とデュオ・コンサートを行う。

オーケストラ退団後はソロや室内楽のコンサートを意欲的に主宰し(銀座・王子ホールにての12回のソロリサイタル、各種のコンサートシリーズ)、各分野(詩、歌、文学、心理学、物理学、教育学、伝統文化、・・・)における我が国を代表する方々の講演と音楽がコラボレートする「レク

チャー & コンサート」をたびたび催す。フルート愛好家のために、フルートや音楽の多様な楽しみを伝える活動にも力を注いでいる。尚美学園大学非常勤講師。全日本学生音楽コンクールなどの審査員。

一般社団法人日本フルート協会会長。

ひとこと このたび講演をお願いし快くお引き受け下さった 森 章司 先生は、私共の長男 佐々木 正(2008年没)の東洋大学(インド哲学科)在学時の恩師であります。



岩永善信(ギター)いわなが よしのぶ

パリ・エコール・ノルマル音楽院演奏家クラスを首席卒業。第1回日本ギターコンクール第1位入賞、第3回イタリア・ガルニアーノ国際ギターコンクール第1位入賞、第20回パリ国際ギターコンクール第2位入賞など数々の賞を受賞。その後、ベルギーを拠点にヨーロッパで演奏活動を展開、高い評価を得る。

2000年以降、活動の場を再び海外にも広げ、カーネギーホールを含むアメリカでのコンサート、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、モロッコ、チュニジア、シンガポール、韓国及び台湾など世界各地で意欲的に演奏活動を行っている。2015年にはアメリカコンサートを予定している。